



からふる保育園は、AI やテクノロジーが進化する、
 これからの社会で生きていくのに必要な非認知能力
 (数値化できない能力 (例)粘り強さ・協調性・やり抜く力・自制心・感謝する力)
 を伸ばす保育を行います。

保育理念

日々の保育を通して
7つの「生きる力」を育ててまいります。

保育の最終的な目的は、自立した人間の育成です。

人格が形成される大切な幼児期に様々な経験をする事で、

その子が一生に渡り豊かな人生にしていく

『生きる力』を身につけていきます。

からふる保育園では、

日々の保育を通して7つの力を育ててまいります。



1 1 自分の事は自分で できるようにする力

生活習慣を繰り返し伝え、
 共に整えることで
 自分の事は自分でできる力を
 身につけます。



2 2 人の話を聞く力

遊びやうた等子ども達が興味を持つ内容を
 話す事で人の話を聞く力を身につけます。



3 3 人間関係をつくる力

友達との関わり、
 保育士との関わりを通して
 コミュニケーションスキルを向上させ
 人間関係をつくる力を身につけます。



5 5 ルールを守る力

遊びのお約束や
 園でのお約束を通して
 ルールを守る力を身につけます。



4 4 自分の考えを伝える力

自分の思いを普段から相手に伝える、
 発表の場を設けても
 自分の思いを表現できるように
 たくさんの経験を重ねて
 自分の考えを相手に伝える力を
 身につけます。



6 6 チャレンジする力

様々なものに興味を持ち、
 やってみようと思えるような
 環境づくりを行い
 チャレンジする力を身につけます。



7 7 感じる力

自然や音楽に触れ合うことで、
 子ども達の豊かな感性を刺激する
 環境づくりを行い感じる力を身につけます。



からふるの取り組み

子どもたちの個性を最大限に伸ばすために
様々な取り組みをしています。



ANYTIME ARTIST (エニタイム・アーティスト)

アーティストが考えるベビー・キッズのためのアートプログラム、ANYTIME ARTIST。このプログラムは、新しいアートの創造的体験によって、子どもの潜在的な力を引き出し、「豊かな人間力」と「生きる力」を養います。その方法は幼児の美術教育やメソッドとは異なったアプローチで、好奇心・やる気・発想力・忍耐力・計画性などの非認知能力を伸ばしていきます。未知な素材に触れ、自由に発想させ、自分の作り出すアート作品に向き合っていきます。またプログラム中の大人の見守りに対しても「おとなのやくそく」を作って、子どもが目一杯アートを楽しむ環境づくりを行っています。いつでも子どもはアーティストになります。



実際のレッスン風景▶

美術教育やアートのメソッドなど【教育】という考え方を外して
子どもが目一杯アートを楽しむ環境づくりを行っています

リトミック 0・1・2歳対象

音楽を聴いて「なんだか楽しい！気分がウキウキする！
いい気持ち！」と身体が自然に感じるこの感覚を大切に
し、音楽を通して「自由に表現する」活動を行うことで心
と身体が調整される事を目的とした内容となっています。
日本人ならではのわらべ歌は必ず取り入れています。

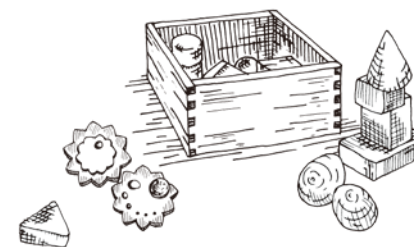


体育教室 3・4・5歳対象

子どもの発育に必要な様々な動きを取り入れ、楽しく運動遊びを行います。運動を通して、「できない」が「できた！」ことで一人一人の自信に繋がったり、協調性やルールを守る力も育てていきます。

木育

非認知能力を伸ばすための、からふるの保育理念の「7つの生きる力」につながる保育として「からふるな木育」と題し木育を取り入れています。木を取り入れた生活の中で、木や森、自然に親しみを感じ豊かな心を育む活動です。木材の木目や匂い、良い音、心地の良い肌触りなど感じる力を伸ばします。また一人一箱、園で所有し、卒園まで使用します。削ると使い続けることができる木材から愛着や豊かな心を育みます。



星空教室

春夏秋冬の年4回 星のソムリエの資格を持つ、星空講師が子どもたちに星空をきっかけとして、自然や宇宙と自分が繋がる感動や感性を伝えてくれます。テクノロジーが広がりを見せる世の中で、子どもの視線は下をむいていることが多いです。時には宙(空)を見上げることの大切さも伝えていけたらと思います。



〈主な活動〉
園をプラネタリウムにして五感を刺激するプラネタリウム体験、季節のお星様絵本と星空アートなど

英語レッスン

聴覚機能が完成するまでにたくさんの英語を聞いたり、話したりする事で英語独自の音やリズムを聞き取れるようになると言われてしています。子どもたちは「真似をすること」で覚えます。たくさんの英語を聞いてコミュニケーションをとることが子どもたちにとっての一番の英語習得法です。ネイティブの先生と一緒に見たり、聞いたり踊ったりしながら五感をフルに使い、英語をインプットしアウトプットしていきます。自発的に子どもたちが英語に触れていけるレッスンです。



▼ ネイティブの先生による英語のレッスン



基本の生活習慣を身につけます。

一日の流れ

- 🕒 7:00 登園
～9:30
- 9:30 朝の会(朝の体操)
- 9:45 朝のおやつ
- 10:00 日課・外遊び・
～11:30 課外レッスン
- 🕒 11:30 給食
- 12:30 お昼寝
- 15:00 おやつ
- 🕒 15:30 帰りの会
- 15:40 自由遊び
順次降園



朝の会



日課活動(製作)



お昼寝



おやつ



自由遊び

※課外レッスンは午前と午後のいずれかの時間になります。課外レッスンがある日は時間が変則的になります。

給食

栄養士 / 調理の先生が中心となり、食育活動を行っています。

〈食育チームスローガン〉

食べることは生きること
食でつくる心と体
おいしく たのしく おおきくなあれ

- ・自分で食べることが出来るようになろう
- ・みんなで楽しくご飯を食べよう
- ・感謝の気持ちを伝えよう
- ・食事マナーを守って食べよう
- ・苦手なものもチャレンジしよう
- ・いろいろな食材に興味をもとう



乳児時期は「生きるために食べる」という大事な時期と考え、集中して食べる、何でも食べる、しっかり食べることを目標とし、一人一人に丁寧に援助していくことで、食べることに喜びを持つ子どもになってほしいと考えます。献立や食器などにも配慮しながら、自立した食事ができるように助けていきます。食事の内容に関しては調理室のスタッフとも十分な話し合いをもちながら、国産のものを中心に無農薬などの素材を増やしたりと、和食中心のうす味を基本に充実させております。また、栄養士の向上を意識し、子どもと一緒に食事をとるなど保育と食がより良いつながりを持てるよう努めております。



排泄

おむつ交換の時間も、一人一人の交換した時刻を記録し、その子の排泄間隔を把握した上で個々に対応するようにしています。また、オムツが取れる時期というのは、一人一人の子どもによって違いますから、何歳何ヶ月になったらという考えではなく、その子どもの発達を全体的に把握した上で、自然に行われるようにします。



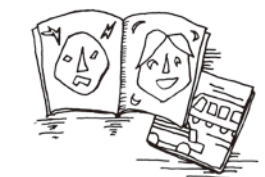
午睡

子ども達がぐっすり眠れる布団を使用しております。その為、午睡でも質の高い睡眠をとることができます。保護者の皆様が洗濯をされるとなると手間がかかりますので保育園ではまとめて洗濯をしたりクリーニングに出したりしています。



おもちゃ、絵本について

保育室同様木のぬくもりが感じられるようなおもちゃを中心に子ども達の好奇心を刺激しながら様々な遊びへと展開していきます。絵本も様々な種類の本を通して豊かな心を育てています。



年間行事

- 4 月 ● 入園おめでとうの会 ● 内科検診 
- 5 月 ● 親子レクリエーション(0.1.2歳児 保護者参観) ● 個人懇談
- 6 月 ● 歯科検診 ● 虫歯予防デー 
- 7 月 ● 七夕会
- 8 月 ● 夏まつり ● お泊り保育(5歳児)
- 9 月 ● 運動会(3.4.5歳児) 
- 10 月 ● 給食試食会(保護者参観) ● 内科検診
- 11 月 ● お店屋さんごっこ ● アート展覧会
- 12 月 ● 親子レクリエーション(0.1.2歳児 保護者参観) ● 生活発表会(3.4.5歳児 保護者参観) ● クリスマス会 
- 1 月
- 2 月 ● 節分(豆まき) ● 個人懇談
- 3 月 ● ひなまつり ● お楽しみ会(保護者参観) ● 卒園式

毎月の行事予定

- 身体測定 ● お誕生日会 ● 食育活動
- 避難訓練 ● 救命救急訓練(2ヶ月に1回) 